

令和2年度

障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する施策の実施報告

(情報・コミュニケーション条例第7条関係)

1 情報取得及びコミュニケーション支援の充実			
ア コミュニケーション等支援者の養成			
●講習会等の開催			
①手話通訳者			
名 称		開催時期	受講者数
手話講習会			
	初級	7月～翌4月 (全33回)	17人
	基本	7月～翌2月 (全25回)	16人
	応用	7月～12月 (全18回)	3人
神奈川県手話通訳者養成講習会		9月～翌3月 (全33回)	2人
手話通訳者現任者研修		9月 (全1回)	12人
②要約筆記者			
名 称		開催時期	受講者数
要約筆記者 (PC) 養成講習会		委託先の指導員不足のため休止	—
要約筆記者 現任者研修	PC	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	—
	手書き	12月 (全1回)	8人
③盲ろう者通訳・介助員			
名 称		開催時期	受講者数
神奈川県盲ろう者通訳・介助員 養成講習会		新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	—
④音訳・点訳ボランティア			
名 称		開催時期	受講者数
音訳基礎講習会		新型コロナウイルス感染	—
点訳基礎講習会		拡大防止のため中止	—

イ コミュニケーション等支援者の派遣の拡充

●支援者の派遣

名 称	派遣回数
手話通訳者	799件
要約筆記者	30件
盲ろう者通訳・介助員	6件（令和元年度）

●点字図書館ボランティアの養成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため募集を一時停止

ウ 情報取得及び情報コミュニケーションの支援のための機器の情報収集、利用普及

コミュニケーション支援ツールの情報収集を行い、利用普及に努める。

2 コミュニケーション等手段の普及の啓発

ア 市内の講演会等でのコミュニケーション等支援者の配置の啓発

●手話通訳者・要約筆記者の配置

	行事数	配置人数
手話通訳者	9	23人
要約筆記者	1	4人

※毎年、次年度の予算編成方針説明会にて、障害者への情報保障について説明を行うとともに、不特定多数の市民を対象とする講演会や式典等への手話通訳者や要約筆記者の配置を依頼している。

イ 障害者の理解を深めるための市民への啓発

●手話・要約筆記の初心者向け教室の開催

名 称		開催時期	受講者数
初心者向け手話教室の実施		10月（全5回）	15人
初心者向け 要約筆記教室	PC	11月（全2回）	8人
	手書き	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	—

●災害時の障害者の支援について（ガイドブックの作成）

当事者会、家族会等に書面によるヒアリングを実施し、災害時の避難所での障害者の困りごと、支援方法についてまとめたガイドブックを作成する。

（継続／当協議会にて内容を協議中）

●出前トークの実施

- ・湘南学院高等学校福祉科 2回（9月：11名／10月：15名）
「視覚障害と点字図書館について」

3 情報取得機会の拡大及び方法の充実

ア 録音版、点字版等、多様な方法での情報発信

●広報よこすかの録音版・点字版の作成

	送付総数（部）	送付先	
		個人（人）	団体
録音版	1,051	72	6
点字版	175	9	6

●市の発行物についての情報保障

- ・作成部数の多い発行物について、点訳・音訳を行う。
 - ・可能な限り、市のホームページにテキストデータをアップロードする。
- ※毎年、次年度の予算編成方針説明会にて、他部課に依頼している。

●アクセシブル行政資料作成システムの構築

視覚障害者に迅速に情報提供を行うため、テキストデータを音声に変換する合成音声システムを運用し、改善を重ねる。（音声データをCDで配布）

- ・作成した資料 「障害者福祉の手引き」資料編（令和2年度）
パブリック・コメント資料「よこすか障害者計画（案）」

イ 不特定多数の人が集まる場所における音声、文字、手話、視覚情報等による情報提供の充実

情報収集を行い、状況の改善・充実に努める。